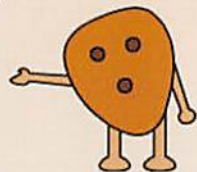
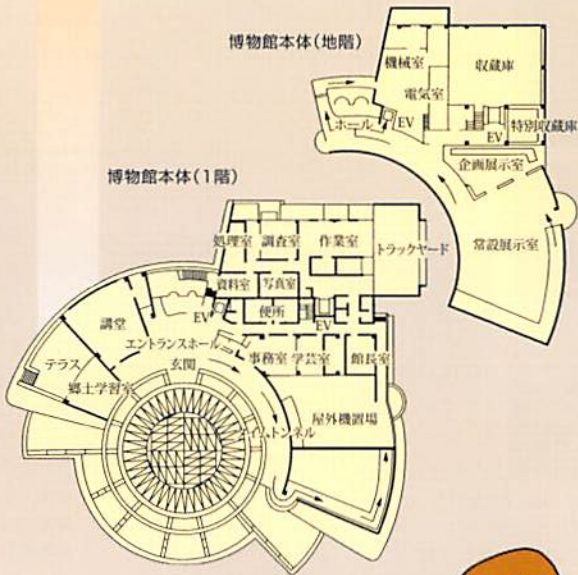


下関市立 考古博物館

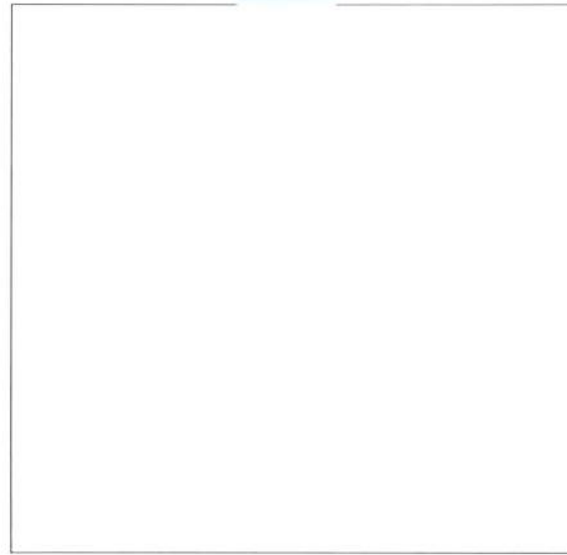
下関市立考古博物館の概要

- 構造** 鉄筋コンクリート造2階建て
(地上1階、地下1階)
- 敷地面積** 12,942㎡
- 建築面積** 1,875.35㎡
- 延床面積** 2,663.65㎡
- 1階/1,477.24㎡
エントランスホール、講堂、
郷土学習室、事務室、
学芸室、館長室など
 - 地階/1,186.41㎡
常設展示室、特別企画展示室、
収蔵庫など
- 屋外施設** 竪穴住居、岩谷古墳
- 駐車場** 87台 (うちバス5台)
- 付属施設** 休憩所「弥生の里」

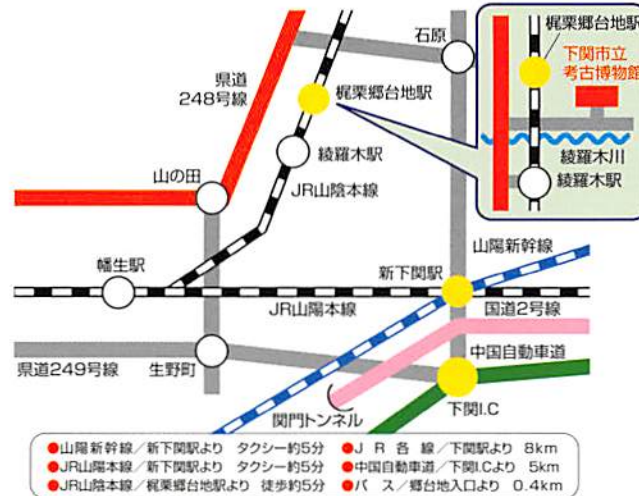


Shimonoseki City Archaeological Museum

記念スタンプ



下関市立考古博物館交通案内



ご利用案内

開館時間/午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日/毎週月曜日、12月28日～1月4日

入館料/無料

●特別展示の場合は、その都度別に定めます。

下関市立考古博物館

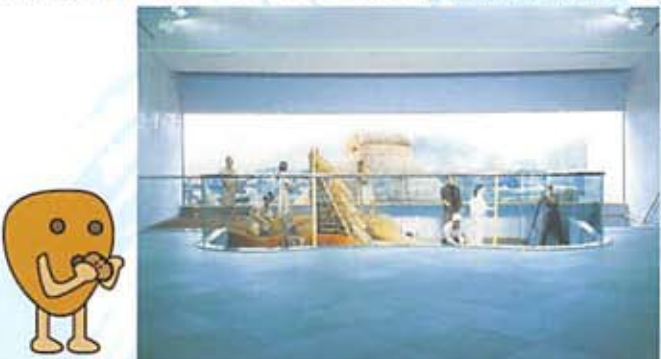
〒751-0866 山口県下関市大字綾羅木字岡454番地
TEL.083-254-3061 FAX.083-254-3062



下関市立考古博物館
マスコット「ぶえ吉」

みんなで探ろう 古代を知れば未来がみえてくる。

今から2000年をこえる昔、初めて米作りが始まった。
 弥生人の集団は、綾羅木郷の丘に深い貯蔵用竪穴を掘って
 食べ物をいれた。
 周りの湿地帯は次第に開墾され、水田が広がった。
 大人も子供も泥にまみれて働いた。
 弓のようにひろがる純白の砂浜では、貝を掘り、
 岩場でサザエやアワビを採った。
 ときには地引網を引く大人たちに混じって子供たちの
 歓声がかきこえてくる。
 はるかな時を過ぎ、いま綾羅木のムラがよみがえる。



- 全観
- エントランスホール
- 講堂
- 将土学習室
- タイムトンネル



- 貯蔵用竪穴
- 出土土器
- 常設展示室
- 常設展示室
- 常設展示室
- 特別企画展示室
- 屋内展示
- 休憩所「弥生の里」

- 竪穴住居
- 岩谷古墳
- 若宮古墳群

